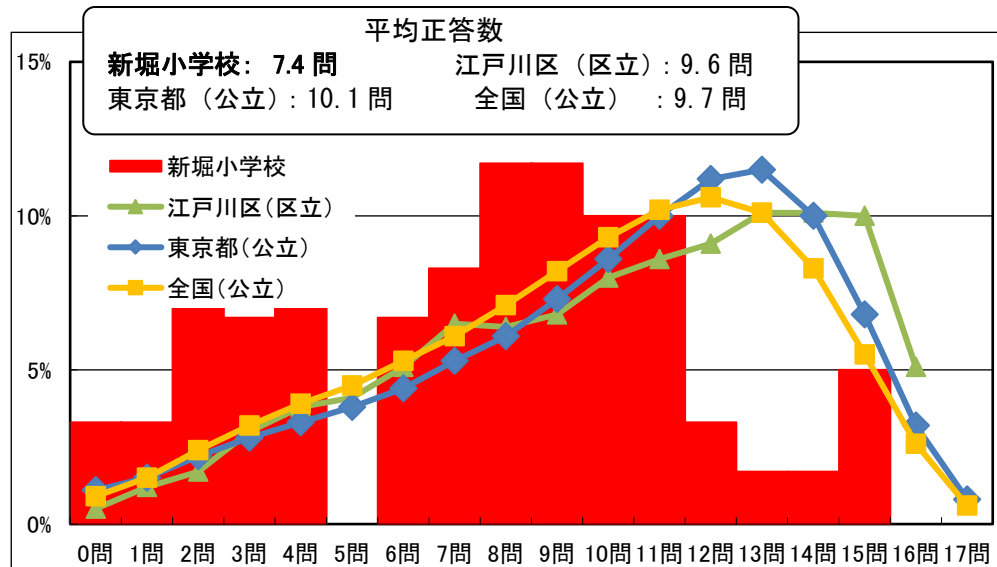


令和7年度 全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて【理科】 新堀小学校

正 答 数 分 布

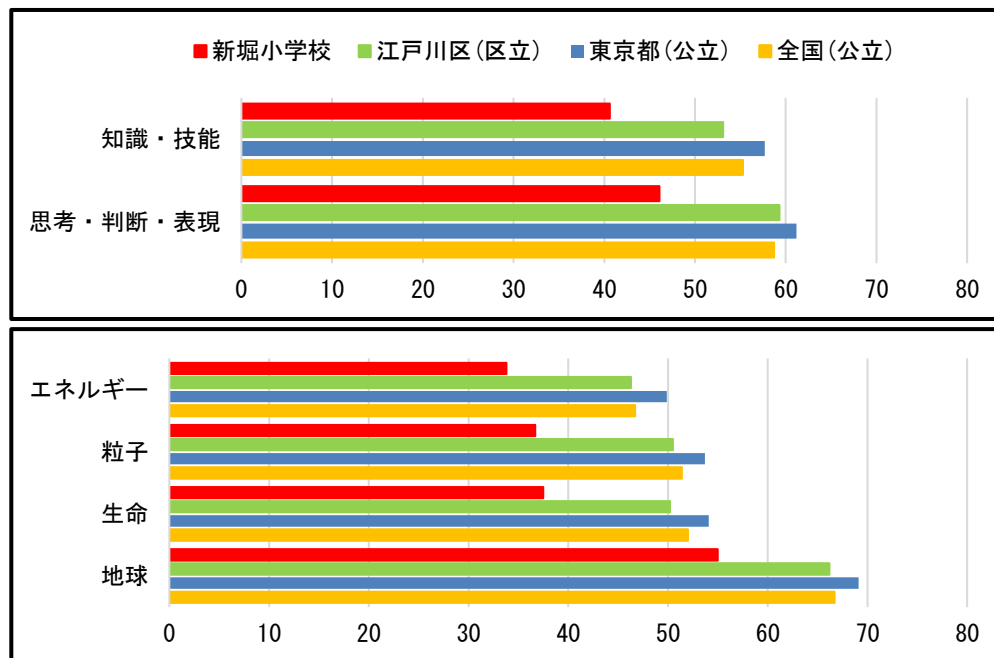


<四分位における割合(都全体の四分位による)>

理 科	上位		下位	
	A層 13～17 問	B層 11～12 問	C層 8～10 問	D層 0～7 問
新堀小学校	8.4	13.3	33.4	44.9
江戸川区 (区立)	27.5	20.2	22.8	29.5
東京都 (公立)	32.4	21.2	22.0	24.4
全国 (公立)	27.1	20.8	24.6	27.5

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、児童数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。下の表では、四分位によって児童をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の児童の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都 (公立) のデータを基に定めている。

「領域別」の結果



【分析結果と授業改善に向けて】

<分析>平均正答率 44%は、都より 16 ポイント低い。D層は約 45%と他の層より多い。「エネルギー」の領域の正答率は 33.8%、「粒子」の領域は 36.7%、「生命」の領域の正答率は 37.5%といずれも全国の前答率に比べて 15%程度低い。

<授業改善>タブレット学習を活用し、理科の用語や基礎知識の確実な定着を図る。授業では「問題→予想→考察→結論」の流れで考える学習を徹底し、結果から自ら結論を導く力を育成する。また、予想や考察の場面で身近な経験と学習内容を関連付けて考えられるようにする。

【平均正答率の差】

新堀小学校	44%
江戸川区 (区立)	56%
東京都 (公立)	60%
全国 (公立)	57.1%
都との差	-16 ポイント

%